

和田龍磨研究会 2024 年夏合宿成果報告書

(C)研究会合宿・研究会が主体となった学術交流活動

概要

2024 年 6 月 22 日から 23 日にかけて、慶應義塾大学総合政策学部和田龍磨教授の指導のもと、和田研究会夏合宿が神奈川県湯河原町で開催されました。この合宿は、慶應 SFC 学会からの助成金を受けて実施され、参加学生たちの学術的な知識の深化とスキル向上を目的として行われました。合宿では、4 年生による卒業プロジェクト発表、書籍「21 世紀の財政政策 低金利・高債務下の正しい経済戦略」を題材にした輪読発表、さらに企業価値算定バリュエーション講座が行われました。

研究成果

合宿では、4 年生の卒業プロジェクト発表を通じて、学生たちは自らの研究を整理し、効果的に他者に伝える技術を磨くことができました。具体的なテーマとしては、株式と債券のリターンの分析、企業と想定為替レートの分析、最低賃金と賃金の上方硬直性の分析、企業の参入・退出と経済成長の分析に関する卒業プロジェクトの中間発表が行われました。発表後には他の学生や教員からのフィードバックを受け入れ、卒業プロジェクトの質を向上させることができました。

書籍「21 世紀の財政政策 低金利・高債務下の正しい経済戦略」を題材にした輪読発表では、学生たちは財政政策の歴史や理論について深く学び、批判的思考力と論理的分析力を高めました。具体的には、低金利政策の背景と影響、高債務状態における経済戦略の考察などが議論されました。これにより、現実の政策に対する理解が深まり、自らの意見を形成する力も養われました。

バリュエーション講座では、企業価値の算定方法について学びました。この講座は学生からの要望により実施され、企業価値算定の基本原則や具体的な手法についての理解を深めることができました。特に、ディスカウントキャッシュフロー法（DCF 法）や市場比較法の具体的な適用方法についての講義が行われました。学生たちはこの講座を通じて、複雑な財務情報を整理し、分析する能力を高めました。これにより、今後の学業や研究においても、高度な分析力と論理的思考力を発揮することが期待されます。

今後の活用

今回の合宿で得た知識とスキルは、学生たちの今後の学業やキャリアにおいて大いに役立つことが期待されます。特にプレゼンテーションスキルやディスカッション能力は、社会人生活においても重要なスキルとなります。また、批判的思考力と分析力を養ったことで、学生たちは多角的な視点から問題を捉え、論理的に解決策を導き出す能力を向上させることができました。さらに、コミュニケーション能力の向上により、チームワークや協調性も育まれ、将来的な職業生活においても貴重な経験となるでしょう。

謝辞

この合宿の実施にあたり、慶應 SFC 学会からの助成金をいただいたことに深く感謝申し上げます。おかげさまで、学生たちは充実した学びの機会を得ることができました。また、和田龍磨教授をはじめとする指導教員の皆様、そして合宿の準備や実施に尽力して下さったすべての参加者に心より感謝いたします。皆様のご支援とご協力のおかげで、今回の合宿は成功を収めることができました。これからも、学生たちが成長し続けるための貴重な経験を積む機会を提供できるよう、引き続き研究会全体として努力してまいります。